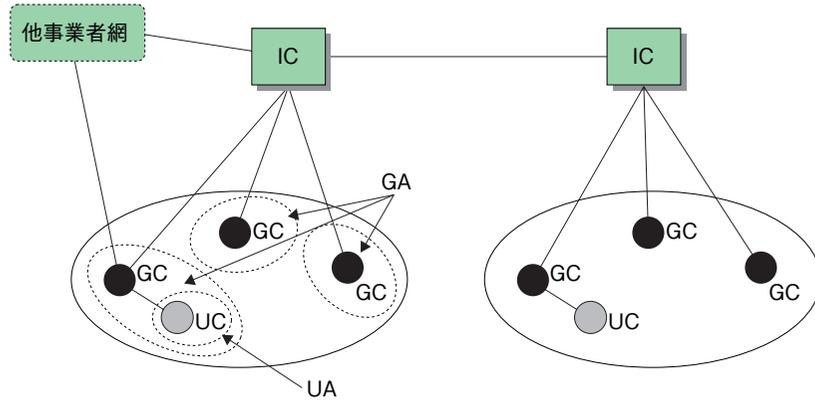


デジタル電話網（NTT地域網）



デジタル網は、加入者を直接収容する加入者交換機と中継交換処理を行う中継交換機からなる網構成を基本としています。

(1) 加入者系の構成

- 群局：GC 単位区域(UA)により構成される群区域(GA)にあって、加入者交換機を設置し、中継局との間に基幹回線を持っています。
- 単位局：UC 単位区域(UA)において、加入者線を直接収容する加入者交換機または遠隔制御交換装置を設置し、加入者交換機は群局（GC）との間に基幹回線を持っています。

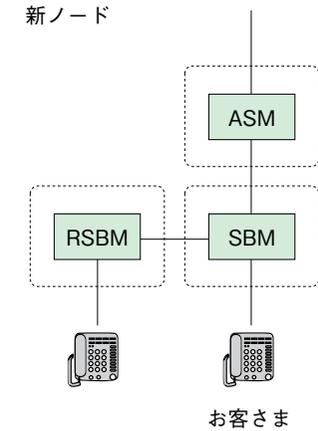
(2) 中継系の構成

- 県内中継局：IC 県内トラヒックの収束・中継を行う地域網の中継交換機が設置されています。

<用語説明>

- ・ UC：Unit Center（単位局）
- ・ GC：Group Unit Center（群局）
- ・ IC：Intra-zone Center（県内中継局）
- ・ UA：Unit Area（単位区域）
- ・ GA：Group Unit Area（群区域）

加入者交換機



加入者を直接収容する加入者交換機には、ASM/SBM/RSBMの装置が使用されています。

なお、ASM/SBM/RSBMで構成されるシステムを新ノードシステム（MHN-S）と呼びます。

各装置の概要

- ASM 1996年より導入が開始されている回線交換系の接続処理とパケット情報の転送処理などを行う装置で、回線交換とパケット転送を行っています。
- SBM ASMに接続される加入者収容装置であり、ASMビル設置用のSBM-CとASM未設置ビル用のSBM-Sがあります。
- RSBM お客さまをSBM設置局へ遠隔収容するための装置で、アナログ／ISDN回線のお客さまを収容しています。